



日常の保育の中から…

6/12 ジャガイモ試し掘り

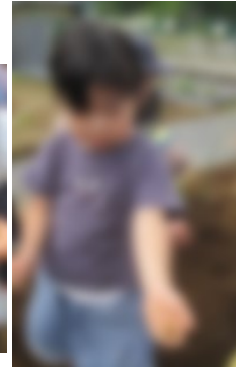
畑の様子を見る中で「あれ？ジャガイモ枯れちゃってる」の声が。確かについ先日まで葉が青々と茂っていたのに現在は…「神谷さんに聞いてみよう」と畑の神様に聞いてみました。「ジャガイモはどこにできるのかな…」「土の中」そこで枯れてなくなってしまったのか、土の中でできてるのか試し掘りをするようになりました。



畑の神様の話を聞く姿は真剣そのもの！
聞いていないとどのようにやってよいのか、わからなくなってしまうことを知っているからです。



年中長児が見本です



「いっぱいあったよ。こんなにちいさいのもあった」と土の中から出てきたお芋に感激です。



「ここ掘れねこちゃん。ここ掘れワンちゃん」と掛け声が自然に沸き起こり、みんなで残っているお芋がないか確認しました。



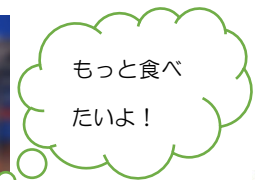
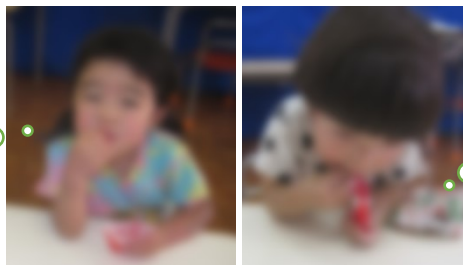
「何個あるのかな。数えてみよう。48個もあったよ！」



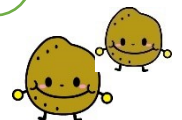
「食べたいな」「ロックのポテトみたいなのがいい」ロック風フライドポテトを作りました。



おいしいすぎる！



もっと食べたいよ！



芋ほりの活動では、土に触れる・芋ほりの楽しさを味わう・友達と一緒に掘る楽しさを感じる・数や量に関心をもつ等を目的としています。今回はその前段階としてジャガイモに興味関心をもって芋ほりに参加してほしいと願い活動を進めていきました。芋ほりを行う中で、もっと掘りたいという気持ちや「なんだか家族みたいだね」とみんなで掘って楽しいという気持ちを感じることができました。まさに寄幼稚園の目指すところ。6人が一緒に活動をする中で家族（兄弟）のような存在になっているのだと思います。

14日の芋ほりでは今回の経験を活かし夢中になって掘ってくれることでしょう。